

# 院内交渉団体から転落

## 長谷川会長が会派離脱

新聞報道等で私たちの会派「かけはし」から長谷川稔議員が離脱したことを知り、何人もの皆様から問い合わせをいただきました。ご心配をおかけし、本当に申し訳ありません。当選後、4人で会派を結成し、院内交渉団体である第三会派として存在感を示してきただけに残念でなりません。私の理解している範囲で、ご説明を申し上げます。

## 議会最終日の朝 突然の離脱表明

11月定例会最終日の12月18日朝、長谷川議員が会派控え室で突然、「会派を離脱する。会派にいと制約も多いので、ひとりで議会活動をしたい」と話されました。前夜には知事ら執行部を囲んで、意見交換会を開いたばかりでしたから、寝耳に水で驚きました。

議会活動の華は4人以上で構成する会派だけに許される代表質問です。9月議会で長谷川議員がされ、岡議員は来年2月議会に向けて準備を重ねておられました。「岡議員で、会派全員が代表質問をしたことになるから、せめてそれまで離脱を待つて欲しい」とお願いしましたが、「関係

ない」と聞き入れてはもらえず、本会議終了後、十分な話し合いを持つこともなく、離脱届けを議長に提出されました。

## 離脱理由も不可解 議会活動に制約も

陳情の取り扱いや会派のあり方を巡って激しい議論になり、不満を漏らされたこともありました。しかし、会派結成時に、意見の一致を見ないときには会派拘束は外し、国政選挙や市町村選挙での行動は制約しない

ことなど会派の行動原則を明文化して約束しましたので、「会派にいと制約が多い」という理由は私には理解できません。

鳥取県議会では4人以上の会派は院内交渉団体として、様々な権限を行使できません。時間制限がなく知事に論戦を挑める代表質問に加え、議会運営委員会や議会改革推進会議にも委員を送れ、議会改革の議論もリードしてきたつもりですが、これらの活動は今後は出来なくなります。長谷川

議員の会派離脱で。本当に多くのものを私たちは失ってしまいました。

## 三人で結束確認 新会長に森岡氏

3人結束して会派活動を継続していくことを確認し、会長に森岡議員、幹事に国岡議員、私は引き続き、政調会長という人事を決めました。今後、厳しい議会活動になりますが、皆様のご支援、ご協力だけが私たちの支えです。よろしくお願い申し上げます。

### 県議会余話

## 一歩引いて総選挙を考えると…

第46回総選挙は12月16日に福岡1区に行っただけ投票されましたが、公示で、いつもの議会と変わってから投票日までが定例会のまですでした。

会期中で、自民、民主、公明、共産の各党職員の県議他、自民、みんな（維新推薦）の皆さんは、本主に忙しそ薦、共産、無所属の5人が立候補していました。有権者の皆様に選肢を提供お世話になっっている松本龍・元環境大臣の陣中見舞です。相手が盤石の地盤を

誇る自民党幹事長とはいえ、県庁所在地に候補を立てられないようでは、民主は政権政党の態をなしてお

らさず、大敗しかたないのではありませんか。私の会派は、全員が無所属で国政選挙での制約はあ

りません。民主は一度、会派第1党がドミノ倒しのよう派の部屋に協力を依頼に多議席を占める小選挙区の特性での大勝です。数区で押し切るのではなく、少数意見に配慮した国会運営を願いたいと思います。